

## 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

－分布回遊状況解析調査に基づく実用化試験－

### 1. 今後の見通し

予測期間：2005年10月中旬から11月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

#### 1) 道東海域

(1) 来遊量：10月中旬は、高位水準から中位水準へ減少する。10月下旬以降も減少を続け、11月上旬には低位水準となる。

(2) 漁場：10月中旬の漁場は、落石～釧路沖と襟裳岬周辺～襟裳岬南沖にかけて広範囲に分布する。10月下旬から落石沖の漁場は散発的となり、11月上旬以降は襟裳岬南沖に漁場が残るが、徐々に断続的になる。

#### 2) 三陸海域

(1) 来遊量：10月中旬も増加を続け、中位水準となる。10月下旬～11月中旬は、中位水準を持続するが、11月下旬から減少傾向となる。

(2) 漁場：10月中旬は八戸～釜石沖に漁場ができる。10月下旬は八戸～釜石沖が主漁場となるが金華山沖でも散発的に漁場ができる可能性がある。11月上旬以降は、漁場が金華山沖まで広がる。11月下旬は、三陸北部で断続的となり、南偏傾向となる。

#### 3) 常磐海域

(1) 来遊量：10月中旬までは来遊量が少なく、漁場形成は期待できない。10月下旬には低位水準ながら来遊はあるが、本格的に来遊するのは11月上旬以降となり、11月中旬には中位水準となる。11月下旬から減少傾向となる。

(2) 漁場：10月下旬は、常磐北部において断続的ながら漁場が形成される可能性がある。来遊量が増加する11月上旬以降は、常磐北部～鹿島灘が主漁場となる。

### 2. 予測の概要

海 域		10月中旬	10月下旬	11月上旬	11月中旬	11月下旬
道東海域	来遊量					
	動向	中位減少	中位減少	低位減少	断続的	断続的
	漁 場	落石～釧路沖・襟裳岬周辺～襟裳岬南沖	落石～釧路沖・襟裳岬周辺～襟裳岬南沖	襟裳岬南沖	襟裳岬南沖	散発的
三陸海域	来遊量					
	動向	中位増加	中位水準	中位水準	中位水準	中位減少
	漁 場	八戸～釜石沖	八戸～釜石沖・金華山沖	久慈～金華山沖	久慈～金華山沖	南偏傾向
常磐海域	来遊量					
	動向	断続的	低位水準	低位増加	中位水準	中位減少
	漁 場	北部	北部	常磐北部～鹿島灘	常磐北部～鹿島灘	常磐北部～鹿島灘

### 3. 漁況の経過概要

(9月下旬)

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した来遊量の水準は、9月中旬を上回ったものの、引き続き低水準であり、高水準であった前年を下回った。日別 CPUE(1網当たりの漁獲量)から判断すると、期後半の27日夜以降、来遊量が急増した。

##### (2) 漁場

落石沖から釧路沖の10~30海里付近の表面水温13~18℃と、落石沖80~150海里付近の表面水温14~18℃が主漁場であった。

落石南10海里~南南東30海里付近の表面水温13~16℃では、小型船の漁場となった。21日夜は満船となった船が多かったものの、22日夜には5トン程度しか漁獲できず、23日夜からは漁場が消滅した。27日夜以降は連続して漁場となり、満船となった。

厚岸大黒島南15海里~南南東25海里付近の表面水温13~17℃では、21日夜と、27日夜以降小型船主体の漁場となった。21日夜は満船となったが群は淡かった。27日夜以降は群れも厚くなり、小型船は満船となった。さらに29日夜からは大型船も数隻操業し、40~90トン漁獲した。

厚岸大黒島南60海里付近の表面水温16~18℃では、24日夜と25日夜に小型船と大型船数隻が操業した。最高20トン漁獲した船もあるが、多くは2~5トン程度であった。

釧路南西20~南東20海里付近の表面水温14~15℃では、29日夜以降、小型船の漁場となった。群れは厚く、満船となった。

落石南東80海里~南南東150海里付近の表面水温14~18℃では、27日夜以降、大型船の漁場となった。40~100トン程度漁獲。

##### (3) 魚体

22日夜の落石沖の漁場でジャミが多かった他は、30~31cmの大型魚が主体。

#### 2) 三陸海域

漁船による本格的な操業は無かった。